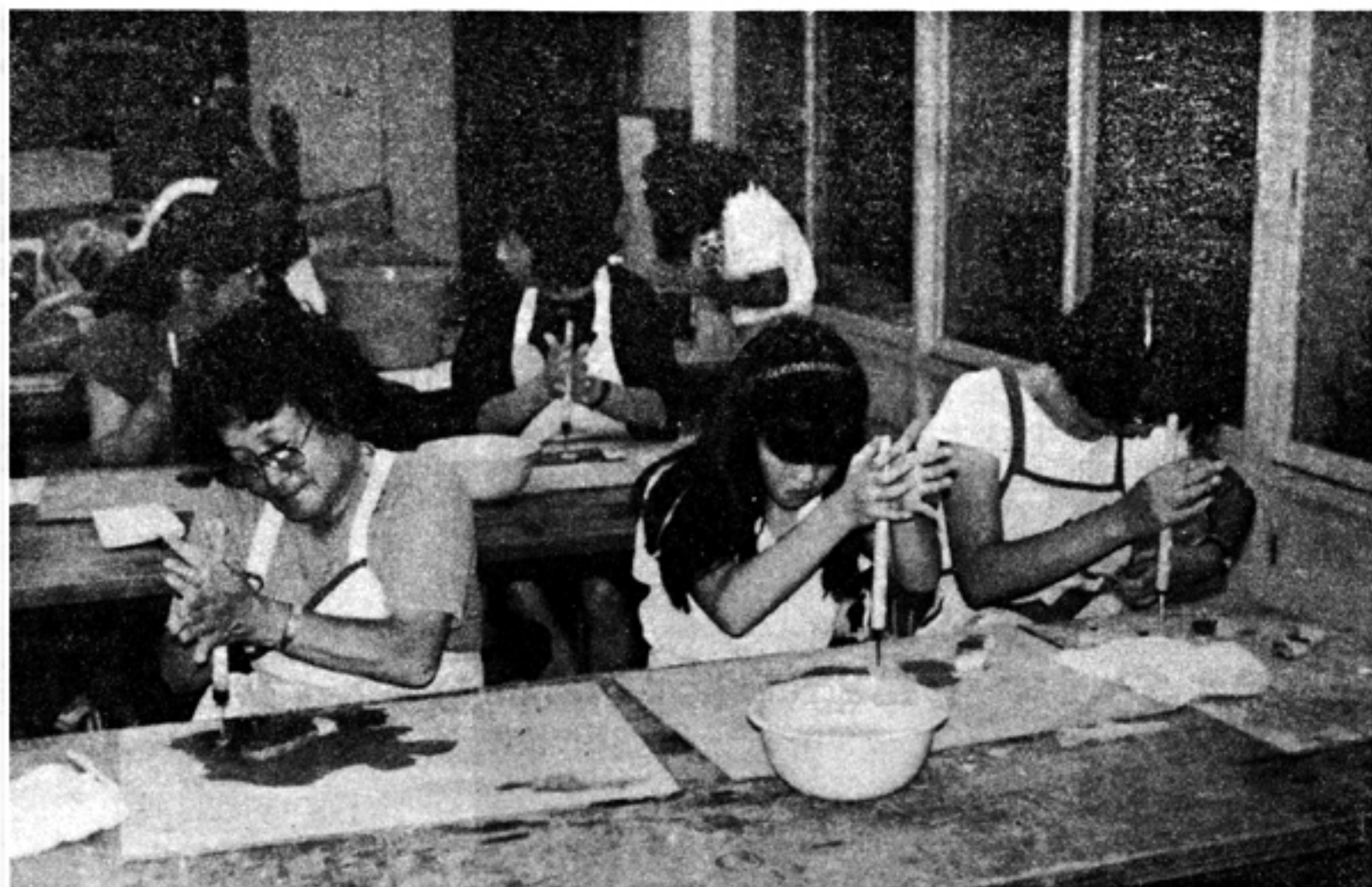




あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'92 9月号



体験学習「勾玉を作ろう」開催

■ 8月16日（日）、体験学習「勾玉を作ろう」が開催されました。これまで数多い体験学習の中でも石製品の製作ははじめての企画とあって、この催しには72名もの応募をいただきましたが、当日は抽選で選ばれた15名の精鋭が古代の技術に挑戦しました。

■ 材料は緑色凝灰岩、そして研磨用の砥石には角閃石安山岩と、いずれも平塚市内の遺跡から出土する石材を使用し、穴あけにはすでに日本に鉄器が普及していた古墳時代を想定して錐を使用しました。

■ 緑色凝灰岩は比較的軟らかい岩石ですが、開始後30分もすると、早くも先行きに不安

をおぼえる参加者が現われるなど、文明の力にどっぷりとつかってしまった現代人にとって、砥石でたんねんに削っていくのは思いのほか骨の折れる作業だったようです。

■ しかし、なれるにしたがって作業のスピードも早くなり、全工程中最大の難所と考えられていた穴あけでは、半数以上の参加者が機械を使わずに錐だけで穴を貫通させました。

■ 始めからおわりまで手作業だけで完成させた人、一部機械の力を借りて完成させた人、それぞれが1500年前の日本に思いをめぐらせた一日でした。

（次の日腕が痛くありませんでしたか？）

今月のプラネタリウム

星の一生 Part III 9月12日 ~11月1日

赤色巨星への道

■夜空の星は、何色に見えますか？

明るい星をくらべると星の色がよくわかります。秋の空には1等星は少ないのですが、2等星ではどうでしょう。秋の四辺形の北東角を作るアンドロメダ座 α （アルファ）星と、そのさらに東にならぶ β （ベータ）星をくらべてみてください。 β 星が赤みがかって見えたら、気のせいではありません。星にはそれぞれ固有の（じぶんの）色があるのです。

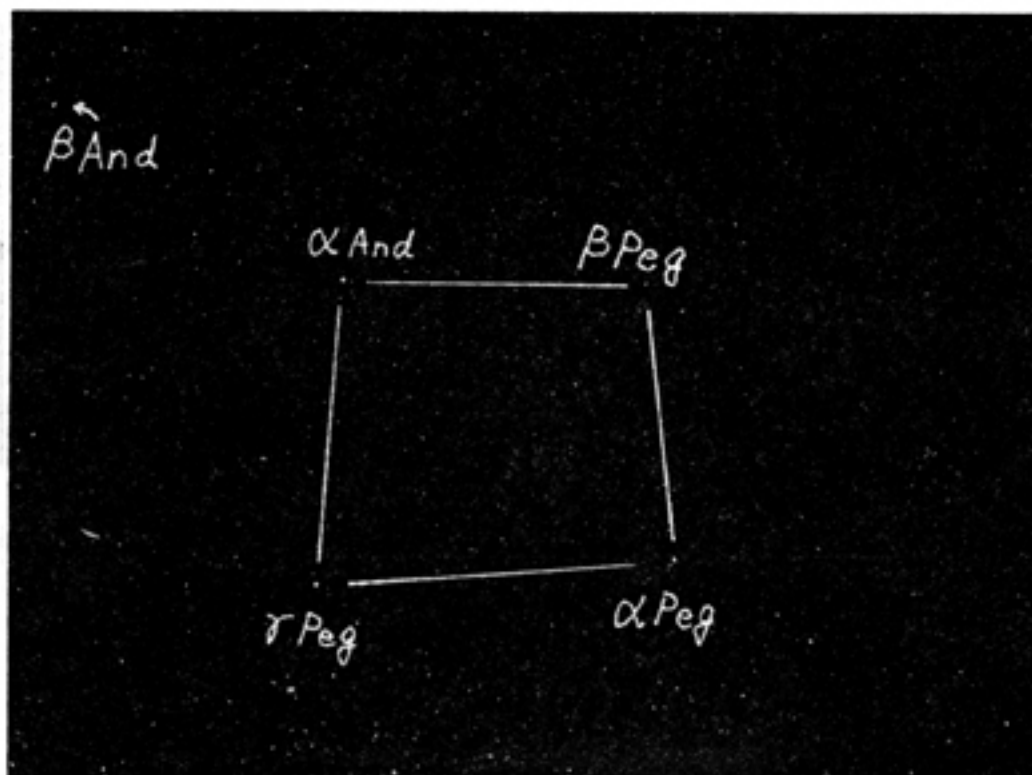
星はみな水素ガスでできているのに色のちがいがあるのは、表面温度の差のためです。これはその星がどれだけたくさんの水素を集めて生まれたかによって決ってしまいます。青い星は大きく生まれついた表面が高温の星、赤は小さな低温（といっても3000°くらい）

の星だということを「パートII」のときにお話ししました。

ところが、アンドロメダ座 β 星は、私たちからは青白い α 星と同じくらいの距離にありながら、明るさでも決して劣りません。この星は赤くて大きい、いわば「例外」の星なのです。

「例外」と言っても、私たちが夜空で目に見える赤い星は、じつはほとんどがこの「例外」のほうになります。たとえば四辺形の西北角にあたるペガス座 β 星も赤い星ですが、半径は太陽の150倍あるとされる巨星です。さそり座の1等星アンタレスなどは太陽の230倍にもなります。

今回の投影では、このような「赤色巨星」たちについて、星の進化の面から解説します。



*「秋の四辺形」（上が北）
Andはアンドロメダ座の略符
Pegはペガス座の略符

プラネタリウム利用案内

投影日： 毎週 土、日曜日

投影時刻： 1回目 11:00、2回目 14:00

観覧料： 100円

定員： 86名

★途中入場はできません。

★土曜の11:00の回は団体予約を受け付けています。詳しくは博物館までお問い合わせください。

★観覧券は1階受付でお求めください。売り切れの場合はご了承ください。

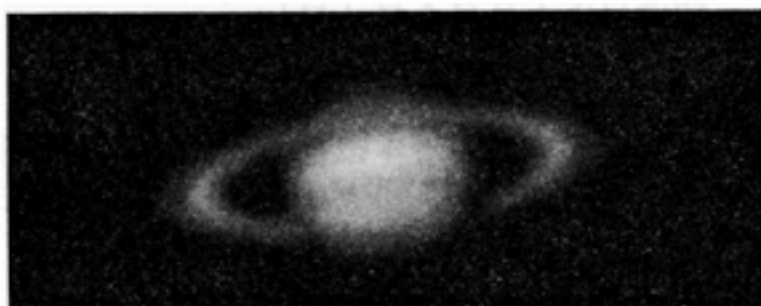
1992 博物館の夏休み行事点描

■ 7月から8月は学校が夏休みに入り、博物館行事も1年のうちで最も多彩に展開される時期です。今年も特別展や入門講座、そして観察会や体験学習などに多くのかたがたの参加をいただきました。ここでその一部をご紹介します。

星を見る会 夏の星空に親しもう

- 8月15日(土) 博物館屋上
- 8月22日(土) 博物館屋上
- 8月29日(土) 博物館屋上

■ 8月中の毎週土曜日に予定された星を見る会、前半やや天候不順気味で心配されましたが、後半3回は無事開催することができました。参加者数は3回の合計で300名程になり、夏の星座や土星の観察でにぎわいました。



*この夏観察された土星

体験学習 簡易実体鏡を作ろう

- 8月1日(土) 科学教室

■ 昨年好評だった企画。今年も小学生・中学生を中心に人気を博しました。写真が立体的に見えるという、ふだん思いもよらないことが簡単にできるとあって、みんなすぐに夢中になってしまいました。練習をすると実体鏡を使わなくても立体的に見えるようになりますよ。

夏期特別展 おもちゃと遊び

- 特別展 7月21日(火) ~8月30日(日) 特別展示室
- 講演会 7月26日(日) 講堂
- 体験学習 7月25日(土) 科学教室
- 8月26日(水) 科学教室

■ 「野の民俗」等の著書で知られる中田幸平氏によって寄贈された2000点を越える小物玩具を中心に現代の子供達の遊び事情にも目を向けた特別展。”懐かしさ”だけにとどまらない「子供の文化」を認識させる展示になりました。また、親子で観覧する姿が多く、世代を越えた共通の話題が生まれたようです。

■ 中田氏自身による講演会のほか、2回にわたって開催された体験学習「手作りおもちゃを作ろう」にはあわせて80人以上の参加があり、それぞれに作り出す楽しさを味わいました。



*実体視の練習風景

博物館カレンダー

9月の行事予定

6	日	体験学習「草木染め」 相模川の生い立ちを探る会 (市内)
12	土	古文書講読会 土曜観察会 漂着物を拾う会
13	日	古代遺跡を探す会
19	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 ナチュラリスト講座
24	木	裏打ちの会
26	土	古文書講読会 土曜観察会 漂着物を拾う会
27	日	相模川を歩く会

10月の行事予定

2	金	星を見る会(月と土星)
3	土	ナチュラリスト講座 漂着物を拾う会
4	日	相模川の生い立ちを探る会 (大磯) 体験学習「巣箱を作ろう」
17	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 土曜観察会 漂着物を拾う会
18	日	相模川を歩く会
22	木	裏打ちの会
24	土	古文書講読会 天体観察会 (月光天文台 ～25日)
25	日	古代遺跡を探す会

8/1～9/13 寄贈品コーナー「生物部門」
9/19～10/30 寄贈品コーナー
「博物館実習生の展示」
7/18～9/6 プラネタリウム
「いん石-宇宙からの贈り物-」
9/12～11/1 プラネタリウム
「星の一生 PartⅢ」
9/17～ プラネタリウム 学習投影

■ナチュラリスト講座「群体性の付着動物」

ホヤなどの海の動物のお話です。

開催日：9月19日(土)

時 間：18:00～20:00

講 師：種田保穂氏

会 場：講 堂

入 場：無 料

■ナチュラリスト講座

「獣医からみた野生動物」

大磯で獣医をされている中山先生のお話。

開催日：10月3日(土)

時 間：18:00～20:00

講 師：中山和也氏

会 場：講 堂

入 場：無 料

■星を見る会「月と土星」

望遠鏡を使って月や土星を観察します。秋の星座もながめてみましょう。

開催日：10月2日(金)

時 間：19:00～20:30

場 所：屋 上(科学教室集合)

参 加：自 由

備 考：曇・雨天時中止

■体験学習「巣箱を作ろう」

小鳥たちのために、巣箱を作ったり修理やそうじをしたりします。

開催日：10月4日(日)

時 間：10:00～15:00

会 場：科学教室

参 加：往復ハガキに住所・氏名・電話番号を記入のうえ、「巣箱」係まで

切：9月24日(木)

定 員：20名(応募者多数の場合抽選)

「あなたと博物館」

定期講読のお知らせ

平塚市博物館の情報誌「あなたと博物館」は、ご希望の方に直接郵送しています。お申し込みは、住所・氏名・電話番号・ご希望の号(平成○年○月号～平成○年○月号)をお書き添えの上、62円切手を必要枚数同封して博物館までお送り下さい。

『あなたと博物館』 17巻6号 通巻192号 ㊟3000 発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41 TEL(0463)33-5111 FAX(0463)31-3949